

一般社団法人日本歯科医学会連合
医療職連携委員会フォーラム

開催報告

「歯科衛生士のバージョンアップ」
～認定歯科衛生士の資格を活かす2～

開催日時：2025年1月15日（水）～2月28日（金）

オンデマンド配信

一般社団法人日本歯科医学会連合医療職連携委員会

委員長 山本松男

副委員長 吉田直美

委員 池田正臣，岡田明子，下江宰司

幹事 滝口 尚



日本歯科医学会連合
Japanese Dental Science Federation

オンデマンド配信

参加費
無料

(一社) 日本歯科医学会連合主催
医療職連携委員会フォーラム2024

歯科衛生士のバージョンアップ ～ 認定歯科衛生士の資格を活かす2 ～

今後の複雑な医療現場では高い専門性を有する歯科衛生士の活躍が期待されています。歯科衛生士の資質向上だけでなく、社会的認知度を高め質の保証をするためには、広告可能な専門資格制度の確立が目指すべきところです。歯科衛生士の認定資格取得者による経験談や取得した認定をどのように臨床に活かしているかを聴く企画の第二段としました。

- 1 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（摂食嚥下リハビリテーション）について
渡邊 理沙 桶狭間病院藤田こころケアセンター
- 2 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（在宅療養指導, 口腔機能管理）について
金子 信子 宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科
- 3 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（歯科医療安全管理）について
中岡 美由紀 広島大学病院
- 4 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（老年歯科分野（老年歯科医学会））について
藤原 千尋 国立病院機構福山医療センター
- 5 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士（口腔保健管理（日本口腔衛生学会））について
野口 有紀 静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科

開催日時: 2025年1月15日(水)～2月28日(金)

開催方法: オンデマンド配信

(事前登録者へご案内させていただきます。学会連合HPよりお申し込み下さい。)

登録方法: ウェブ申込み (登録締め切り 2025年2月21日17:00まで)

お問合せ: 事務局 FAX: 03-3263-7761

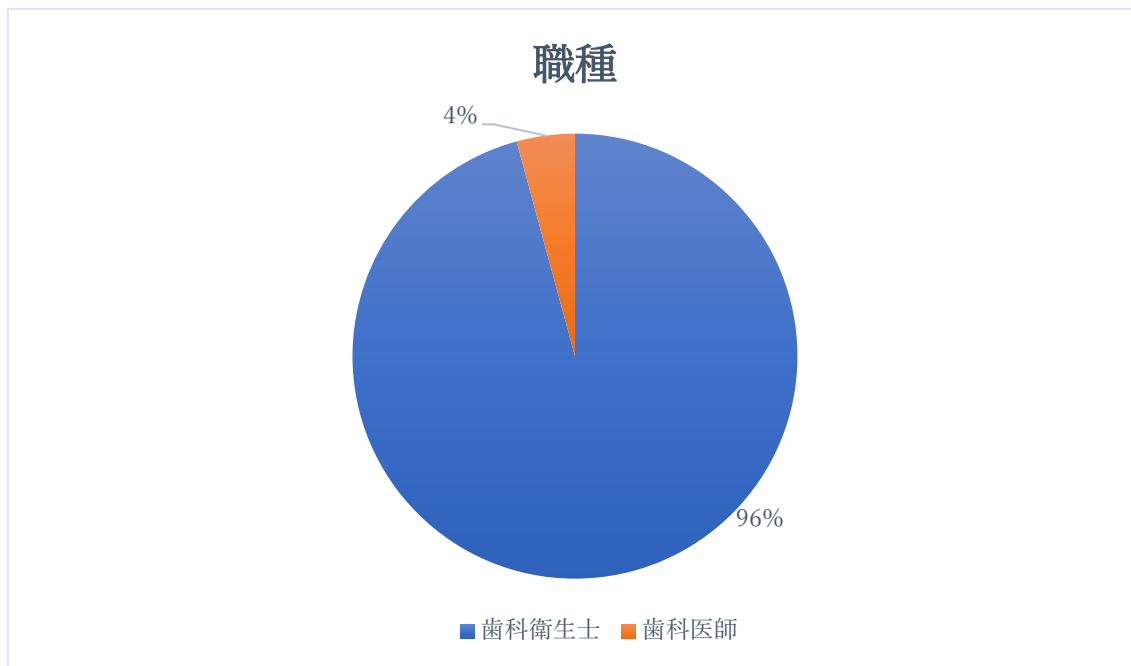
E-mail: jimukyoku@nsigr.or.jp



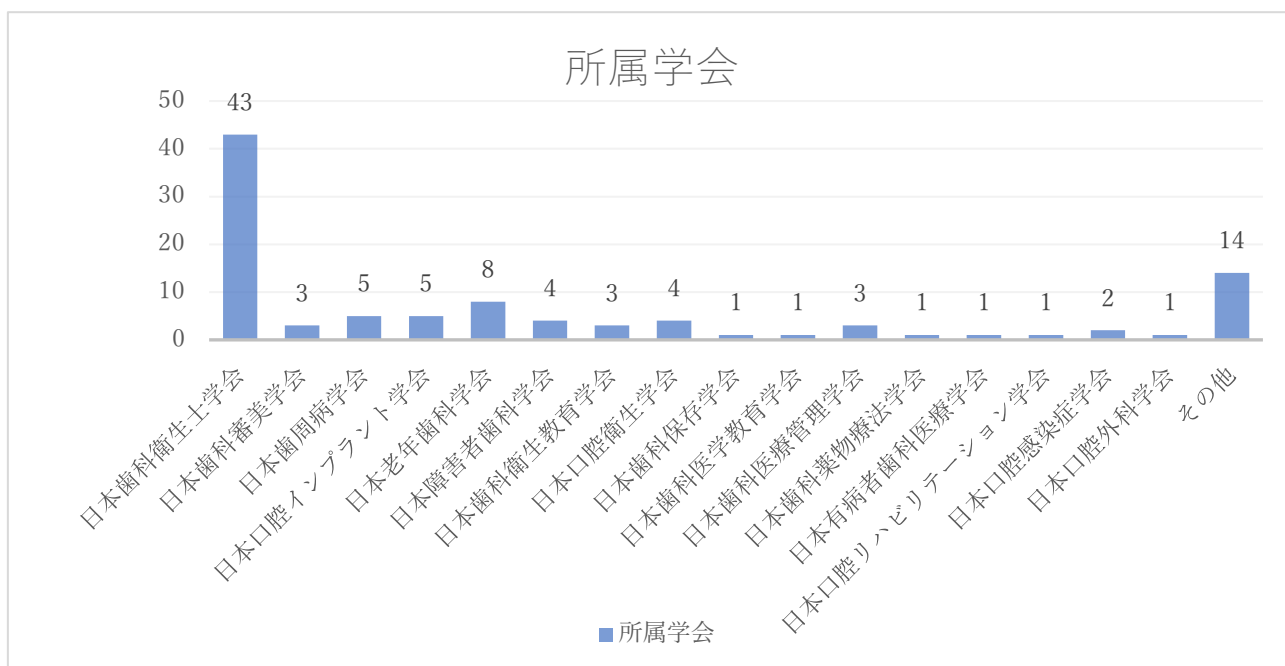
申込用WEBフォーム

医療職連携委員会フォーラム
「歯科衛生士のバージョンアップ～認定歯科衛生士の資格を活かす2～」
アンケート調査結果

1. 職種をお選び下さい（選択）



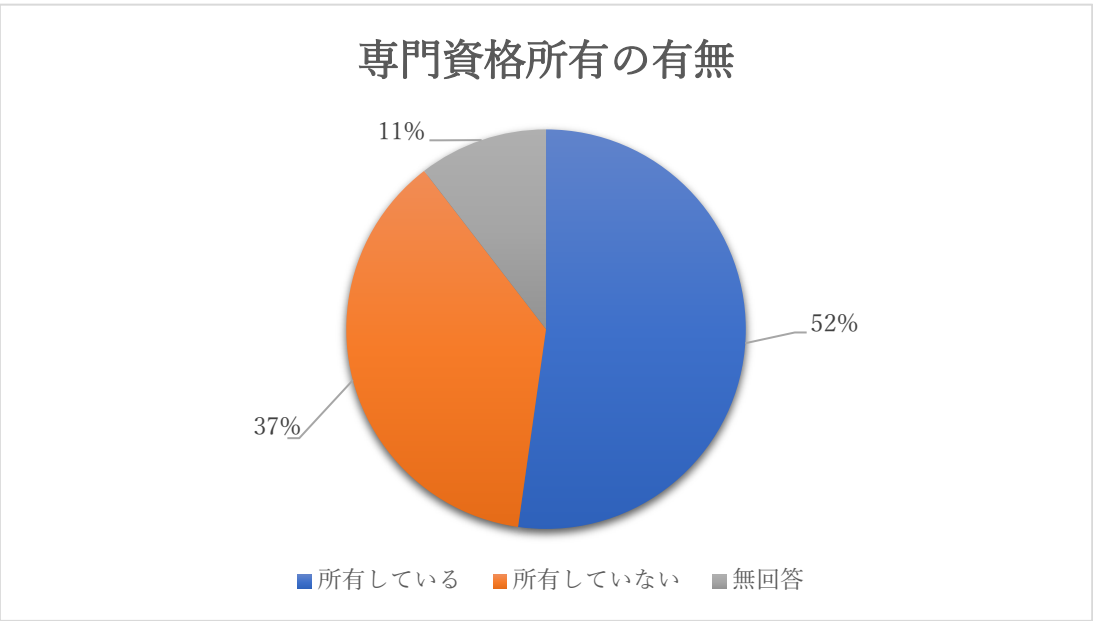
1.1-1 歯科衛生士とお答えいただいた方 所属学会をお選びください。（複数選択可）



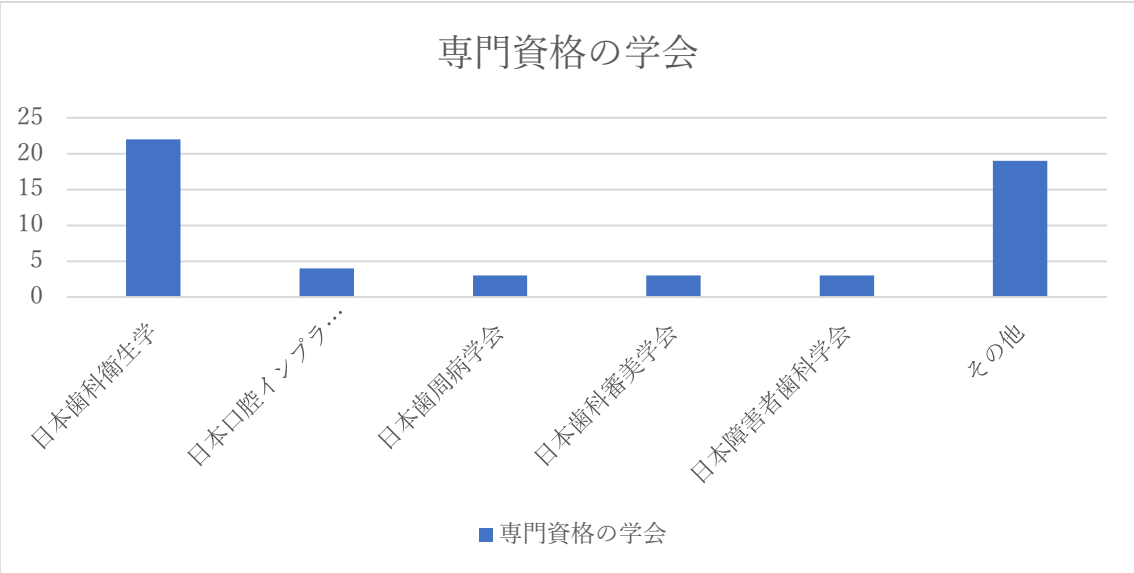
その他での回答（無回答もあり）

日本糖尿病学会
日本渡航医学会
日本接触嚥下リハビリテーション学会（5名）
日本産業衛生学会
日本口腔ケア学会（4名）
日本禁煙科学会
日本がん口腔支持療法学会

1.1-2 歯科衛生士とお答えいただいた方 専門資格を所有していますか。（選択）



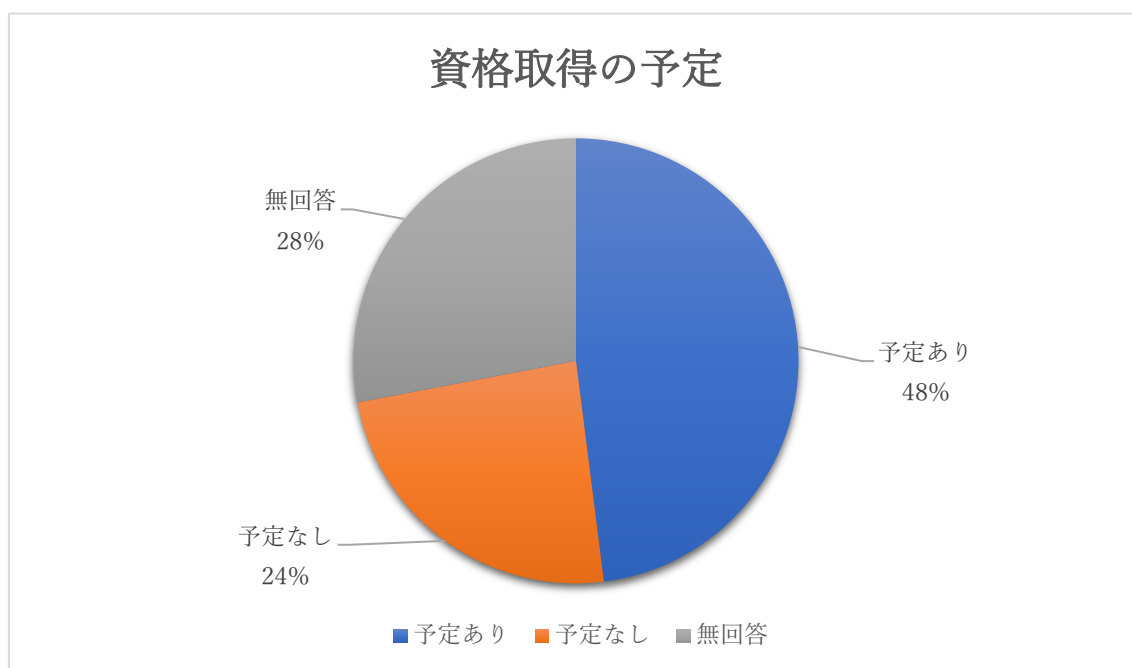
1.1-3 専門資格を所有しているとお答えいただいた方、所有している専門資格の学会をお選びください。（複数選択可）



その他での回答（無回答もあり）

日本歯科衛生士学会
日本摂食嚥下リハビリテーション学会（2名）
日本口腔ケア学会（3名）
日本糖尿病療養指導士認定機構

1.1-4 専門資格を所有していないとお答えいただいた方、取得の予定はありますか。（選択）



1.1-5 取得の予定なしとお答えいただいた方 その理由をご入力ください。（FA）

- ・ 学会発表が難しい
- ・ 年齢的にも高齢であり、今までにあまり考えずに必要性を感じずに歯科衛生士として30年近く働いて、生きてきてしまいました。もう少し若い時であれば、考えてたかもしれません。
- ・ 取得したいものを探している最中のため
- ・ 今のところ、必要性を感じない。
- ・ 制度や必要性について、理解できていない。
- ・ 自分自身、今の現状で専門資格の有無で仕事で何かが変わることが考えられないため。
- ・ 県内で認定を持っている方もおられるが、それを持っているから何かというのがみられない。

1.2-1 歯科医師とお答えいただいた方 所属学会をお選びください（複数選択可）。

日本歯科保存学会
日本歯周病学会
日本歯内療学会
日本口腔外科学会（2名）
日本歯科薬物療学会
日本障害者歯科学会（2名）
日本顎変形症学会
日本顎顔面補綴学会
日本睡眠歯科学会
日本歯科麻酔学会
日本老年歯科医学会
日本歯科医学教育学会
日本有病者歯科医療学会
日本口腔腫瘍学会
日本口腔顔面痛学会
日本口腔内科学会

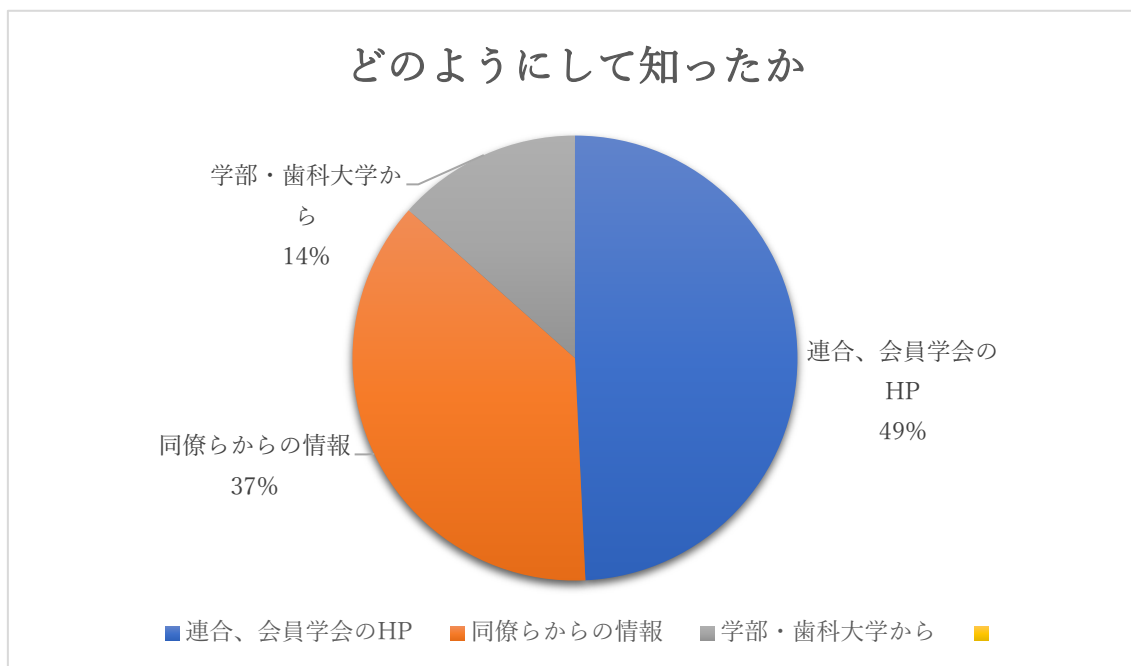
1.2-2 歯科医師とお答えいただいた方 取得している専門医の学会をお選びください。（複数選択可）

日本歯科保存学会
日本口腔外科学会
日本歯科麻酔学会
日本歯科薬物療学会
日本顎変形症学会

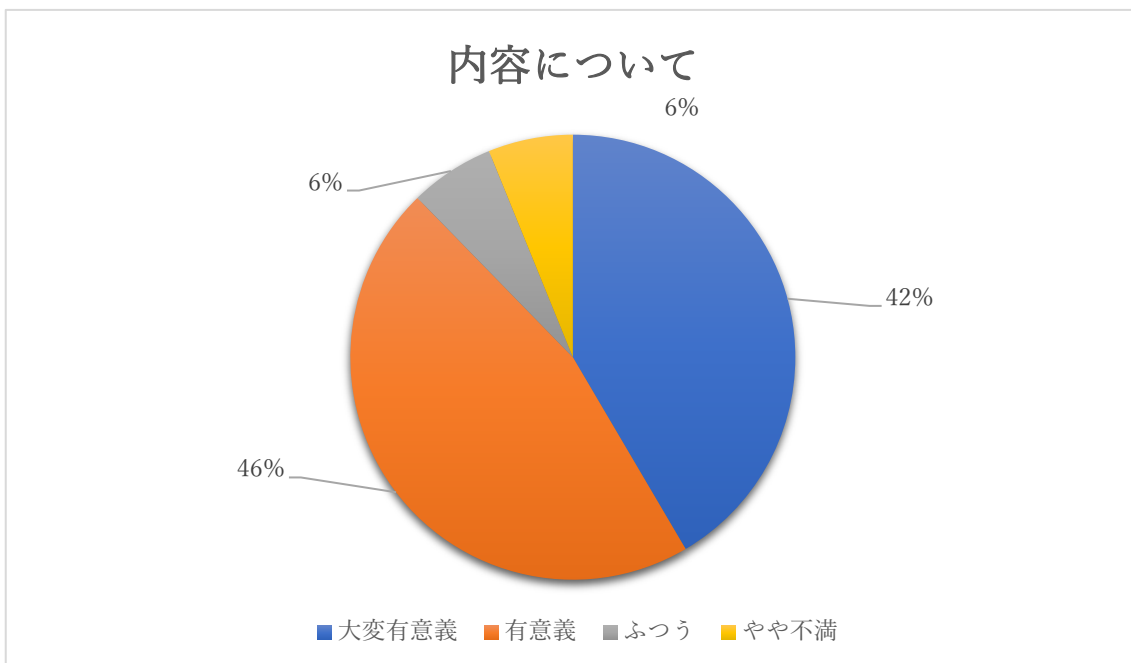
1.2-3 歯科医師とお答えいただいた方 取得している認定医等（専門医以外）の学会をお選びください。（複数選択可）

日本障害者歯科学会

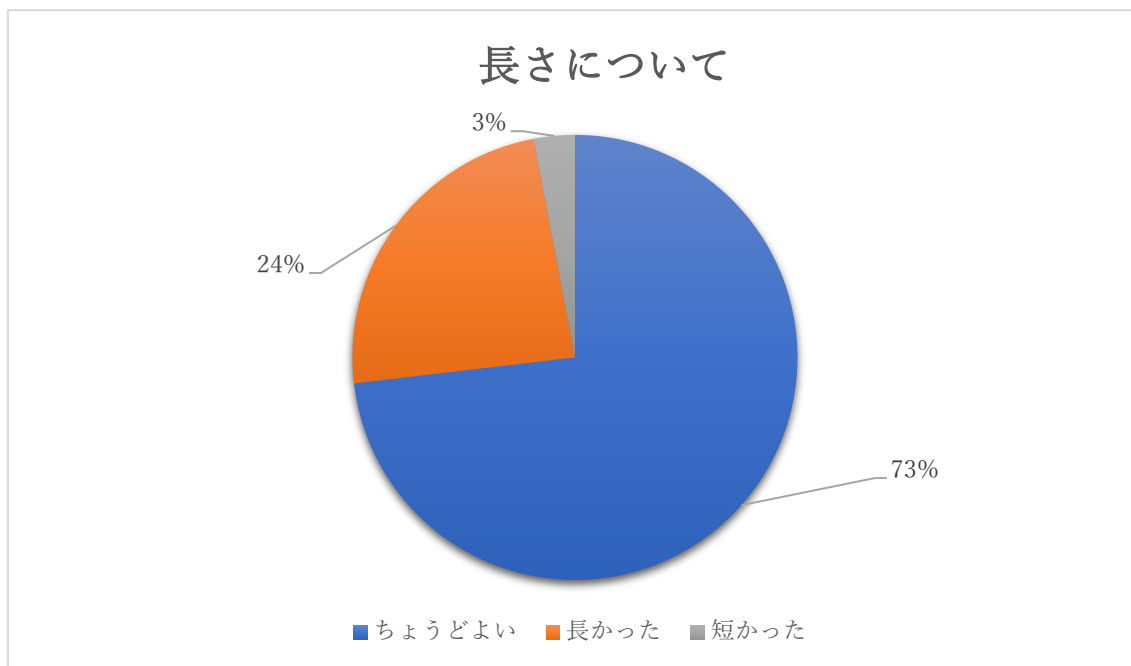
2. 本フォーラムをどのようにして知りましたか。(選択)



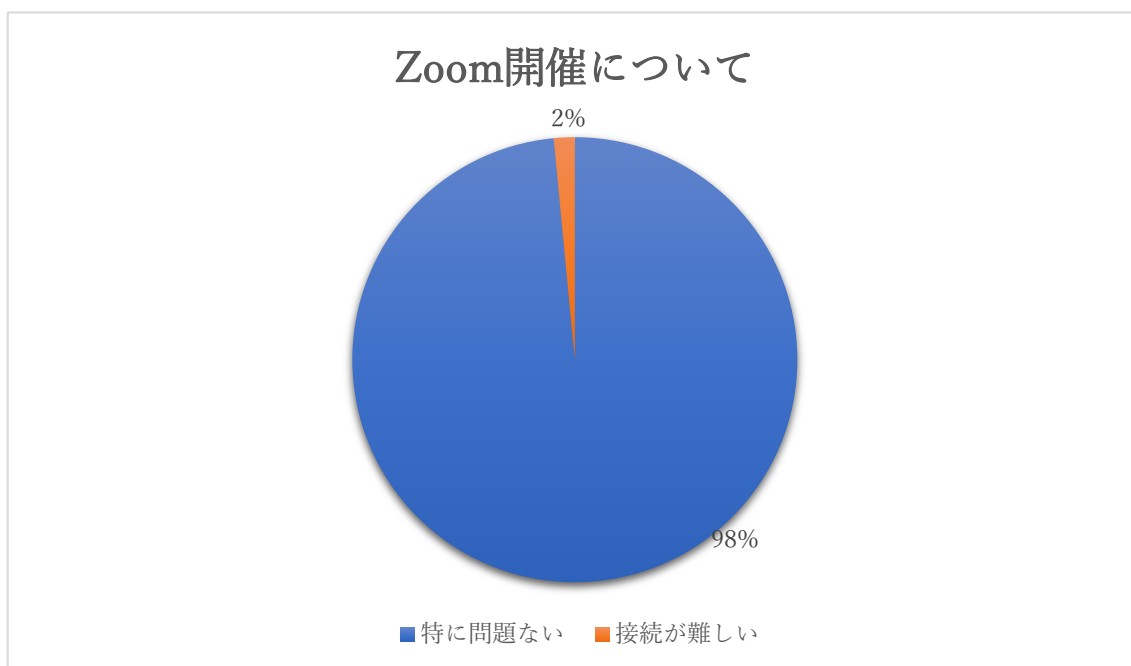
3. 本フォーラムの内容はいかがでしたか。(選択)



4. Zoom による Web 開催はいかがでしたか。(選択)



5. 本フォーラムの長さはいかがでしたか (選択)



6. 本フォーラムに関して何かご意見がありましたらお書きください。(FA)

【フォーラムの感想】

- ・ 多くの歯科衛生士が認定に興味を持ち専門性を活かせるようになるためにはこのようなフォーラムが必要だと感じました
- ・ 前半部分が30分以降、何回も try したが、固まったり、最後まで飛んだり視聴できなかった数日後、再度視聴 t r y します認定資格の現状が少し分かりました
- ・ 認定は出来ればチャレンジしたいと思っています
- ・ 今年度から本格的に歯科衛生学会に入会をし、まさに今認定取得に向けて準備しているものです。今回のフォーラムは非常に勉強になりました。各認定を取得している衛生士さんより実際にどう現場、職場で活躍が出来ているのか、そして報酬に対しての面もまさにお聞きしたいことが盛り込まれていました。また、今後の歯科衛生士の専門制度についても非常に興味があります。ぜひ今後もそのような分野で活躍できる場が増えていけると歯科衛生士のスキル認知度が上がっていくかと思います。こちらとしても、モチベーションもあがり、また頑張れる一つの形として今後も活かしていきたいです。
- ・ 認定歯科衛生士を採用してくださる医療法人、歯科医院が少ない認定を取得したにも関わらずお給料が変わらない。やりがいを感じない毎日です
- ・ 認定を取得しても、一般の歯科医院で活かす機会が少なく感じていたが、認定を活かすためには自ら考えて行動しないと、皆様の発表を見て刺激を受けました。自己研鑽します。
- ・ 認定を取得してもその存在意義が見えてこない。(診療報酬、給料や手当などにも反映しない) 学び続けていくことは、医療職として働いているのなら当然なことです。歯科衛生士会が専門性を打ち出してきても組織率が低く、実現性があるとは思えません。修業年限が増えたが、業務範囲の拡大と結びつくこと、教育機関の差も多く、教員が歯科衛生士会に未入会者がいるので難しいと感じます。個人の意識も高まること、歯科医師会の圧力も考えるべき問題だと思います。
- ・ オンデマンドだったので自分のタイミングで視聴できてよかったです。
- ・ 認定の更新についての説明も欲しかった。
- ・ 認定歯科衛生士の取得を目指している者です。この度のフォーラムにて、実際に認定を取得しておられる先生方のお話を伺って大変有意義でした。特に実際に認定取得までの流れや、取得後の臨床での活かし方など大変参考になりました。加えて、メリットだけでなく、デメリットも示していただけたのも大変参考になりました。ただ、実際は、実業務をこなしつつ、研修にも参加し自己学習や認定を取得することは、本当に骨が折れます。労力も費用もそれなりにかかるため、やはり認定取得の壁は大きいと感じている DH が多いと思います。そして認定取得後の更新継続もなかなか至難の業と感じています。認定試験が web で可能になったりすれば、チャレンジしてみようと思う方も増えるのではと感じています。

- ・ とても勉強になりました。現在2つの認定をもっていますが、取得後何も活動できていない事を改めて感じました。これからは、少しでも取得したからできる事など、今、自分にできることから始めていきたいなと感じました。ありがとうございました。
- ・ 参考になりました
- ・ 常々 歯科衛生士も他職種同様に専門性を発揮できる何かはないものかと感じていました。子育てが終わり歯科衛生士会に再入会することで勤務医院に偏らない情報収集とその認定制度があることに情報弱者だったと反省しました。専門性を活かした歯科衛生士はもっと活躍していいと思うしご発表の先生方からも歯科衛生士の重要性を再確認する講義が有意義でした。
- ・ 衛生士の活躍する幅がたくさんあることを実感しました。
- ・ 認定歯科衛生士ですが、改めて「認定」の意義・活用・必要性について再確認することができました。認定を取得して自己満足するのではなく、育成も含めてどう活用していくか、自分ごととして取り組んでいきたいという思いがさらに大きくなりました。ありがとうございました。
- ・ 摂食・嚥下機能リハビリ認定歯科衛生士渡邊理佐先生が認定歯科衛生士取得後の歯科衛生士の活動や保険点数での加算があるなど認められている資格であることを盛り込んでいってほしい。わたしもすごく感じています。
- ・ 専門資格を持たない理由に持っていない表現が難しいですが「お守り」くらいにしか思っていない感でした。診療以外で地域や高齢者に関わる現場での必要性はすごく感じています。地方にいるからか実際に資格を持った歯科衛生士で何かができることもなくという感じでしたが、誰かが動かないと変わらない、自分自身から変わることからしてみようと今回のお話をきいて思いました。50代後半も過ぎ様々な現場を経験したから歯科衛生士が求められていることも日々感じています、もう少し若ければ重い腰がスツとも思ってしまう。いろいろな歯科衛生士の現場、働き方をたくさんの方に知ってもらいたい、地方でもどこでも気軽に学べる機会があるといいと思います。
- ・ 今回初めて視聴させて頂きました。とても参考になり頑張ろうと思いました。

【さらなる改善点のご意見】

- ・ アンケートの専門資格はまだないのでは？認定資格は持っています。日本歯科衛生士会吉田会長のお顔を拝見いたしましたがぜひお言葉がいただきたいかったです。各認定の話よりはディスカッション部分をもう少し突っ込んでお伺いしたかったです。

【要望、その他】

- ・ 第1回開催を知らずに視聴することができませんでした。今回はInstagramから知ることができました。情報収集が不得手な者にもわかりやすいようにお願いいたします。
- ・ 愛知県歯科衛生士会からこのフォーラムの開催を知ったが、もっと多くの歯科衛生士に周知できると良いと感じた。次年度も視聴を希望するが開催を知らせて欲しい。

- ・ 実際に受講を予定している者として、次年度の開講予定について言及していただきかった。
- ・ 認定取得を希望される若い歯科衛生士さんが多く受講できるよう周知されることを希望します。

7. 今後フォーラムにして欲しいテーマがありましたらお書きください。(FA)

- ・ 高齢者施設関連の医療職連携に関して
- ・ また違う認定歯科衛生士さんの話を聞きたい。認定に対しての必要項目の整理された資料を提示するテーマが欲しい。(日本歯科衛生学会非常にわかりづらい)
- ・ ほぼ大半が就職している歯科医院側が必要と思う認定は何か、認定を取った歯科衛生士がそれを活かせる方法、歯科医師側のメリットなど知りたいと思う。
- ・ 介護施設で働く歯科衛生士について
- ・ 学術大会の参加費はなぜ2万も3万もするのか？その分の価値、例えば学会参加の参加積み立て、資金捻出のコツ(運用の話ではなく)など他の歯科衛生士たちの本音が聞いてみたいです。子育てのタイムラグが入ると参加費で意気消沈してしまいます。
- ・ 広島県の老年歯科認定歯科衛生士の発表で、歯科の標榜はないが歯科衛生士3名在職されている、診療加算など歯科がない中で病院経営にどのように関わっているのか、お聞かせいただきたい歯科の標榜がない病院での歯科衛生士についてこのようなテーマで取り上げていただきたい。
- ・ 専門や認定資格を持った歯科衛生士を雇用されている歯科医師、病院関係者などのお話も伺いたします。